

ADS セミナー

～笑顔の素敵な子に育てよう～

こどもの口はふしぎがいっぱい



講師 岡崎好秀 先生

国立モンゴル医学科学大学 歯学部 客員教授

1978年 愛知学院歯学部卒 同年大阪大学歯学部小児歯科
1984年 岡山大学病院小児歯科講師 (歯学博士 岡山大学)
2013年 国立モンゴル医学・科学大学 客員教授

【専門】小児歯科・障がい児歯科・健康教育

【所属】日本小児歯科学会(指導医)
日本障害者歯科学会(認定医、評議員)
日本口腔衛生学会(認定医)
禁煙科学会(学術委員)
国際歯科学士会(ICD)会員

著書

「世界最強の歯科保健指導 上・中・下巻」

「口の中はふしぎがいっぱい」

「小児歯科診療最前線！子どもを泣かせない17の裏ワザ」

「クイズで語る おもしろ防煙教育最前線」

「おもしろカミカムうんち学」

日時・会場

日時 2025年 7月13日 日

定員 120名
受講料 ¥2,000 (税込) 13:00～14:30

会場

奈良県コンベンションセンター
会議室203



〒630-8013
奈良県奈良市三条大路一丁目691-1
TEL 0742-32-2290

◎キッズスペース完備



キリトリ

ADS セミナー 参加申込書

～笑顔の素敵な子に育てよう～
こどもの口はふしぎがいっぱい



応募フォームは
こちら▲

日時 2025年 7月13日 日

定員 120名
受講料 ¥2,000 (税込) 13:00～14:30

貴医院名	※医院様の横判でも構いません	ご参加者名
(株)アスカデンタルサプライ 担当者名 _____		☐ DR ☐ DT ☐ DH ☐ DA

※ご記入いただきました個人情報は当該フェアの運営ならびに今後の弊社展示会やセミナーのご案内に活用させていただきます。



0742-61-6481

ADS 株式会社 アスカデンタル サプライ
ASUKA DENTAL SUPPLY
SINCE 1962

「笑顔の素敵な子に育てよう」 ～こどもの口はふしぎがいっぱい～



国立モンゴル医学科学大学 歯学部 客員教授

(元岡山大学病院 小児歯科) 岡崎好秀

**Good Teeth,
Better Life**

現在、乳幼児期・児童期のむし歯は減少したが、新たな問題が増えている。

その代表的なものが口呼吸の増加など口腔機能発達不全症である。私は、長年障害を持つ小児の診療に携わってきたが、彼らにはこれらの問題が非常に多い。その理由として障害による口腔機能の未成熟の問題と考えてきた。しかし、これが一般の小児にも増えているとしたら、それは何を意味しているのだろうか。本来獲得されうるレベルまで、小児の口腔機能が発達していないのではないだろうか。

一方、成人期の口腔機能低下症(オーラルフレイル:むせやすい・飲み込み難い・口が乾く・食べこぼしが増えるなど)は40歳代から起こっている。ヒトの体やその機能は、すべてが20歳頃に最高に達する。従って、小児期に機能を高める取り組みが、生涯の健康において重要となる。

小児期の“わずかなひずみ”は、次第に拡大し“大きなひずみ”となって現れる。したがってこの“ひずみ”の原因を考え、取り除くことは発達期における重要な課題といえる。

私は「口は食物が最初に入る場所であるから、食物が変われば最初が変わるのは口ではないか」と思い診療にあたってきた。かつて乳歯むし歯が多かった時代は、砂糖入りの甘いお菓子が多かった。現在は、軟食傾向のため歯周病が増えているといわれる。発達期の口腔機能の問題も、これらと同じ現象ではなかろうか。小児の口腔は、その時代や生活環境を映し出す鏡なのである。

今回は、小児の口腔機能発達不全症の原因とその対策について考えてみたい。

